

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 4 区分  
 【発行日】平成22年8月26日 (2010.8.26)

【公開番号】特開2009-134859(P2009-134859A)  
 【公開日】平成21年6月18日 (2009.6.18)  
 【年通号数】公開・登録公報2009-024  
 【出願番号】特願2009-17494(P2009-17494)  
 【国際特許分類】

G 1 1 B 20/10 (2006.01)

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

【 F I 】

G 1 1 B 20/10 H

G 1 1 B 20/10 3 1 1

G 1 1 B 20/10 D

H 0 4 N 5/91 P

H 0 4 N 5/91 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月21日 (2010.6.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】デジタル信号出力装置およびデジタル信号出力方法

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

上記目的を達するためには、例えば特許請求の範囲に記載されるように構成すればよい

。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

デジタル信号を受信して記録媒体に記録し、記録した前記デジタル信号を再生してデジタルインタフェースより出力するデジタル信号出力装置において、

前記デジタル信号には、前記デジタル信号のコピー制限を示すコピー制御情報とコピー可信号保護情報とが付随しており、

前記コピー制御情報は、コピー可の状態と、1回コピー可の状態と、コピー禁止の状態のいずれかを示す情報であり、

前記コピー可信号保護情報は、前記デジタルインタフェースより出力する前記デジタル信号がコピー可であり、かつ暗号化による保護が必要であるかどうかを示す情報であり、

前記デジタル信号を受信する受信手段と、

前記デジタル信号を前記記録媒体に記録し、記録した前記デジタル信号のコピー制限を示す記録媒体コピー情報を前記記録媒体に記録し、記録した前記デジタル信号を再生する記録再生手段と、

再生した前記デジタル信号を暗号化する暗号化手段と、

再生した前記デジタル信号を前記デジタルインタフェースより出力する出力手段と、

前記コピー制御情報と前記コピー可信号保護情報と前記記録媒体コピー情報とに基づいて前記暗号化手段と前記出力手段とを制御する制御手段とを備え、

前記制御手段は、

前記コピー制御情報がコピー可、または、1回コピー可であることを示しているときに前記デジタル信号を前記記録媒体に記録し、

前記デジタル信号を前記記録媒体から再生する際には、前記コピー制御情報がコピー可で、前記記録媒体コピー情報がコピー可であることを示し、かつ前記コピー可信号保護情報が保護不要であることを示しているときには、再生した前記デジタル信号を暗号化を行わないで前記出力手段より出力し、前記コピー制御情報が1回コピー可であることを示しているとき、または、前記記録媒体コピー情報がコピー不可であることを示しているとき、または、前記コピー可信号保護情報が保護要であることを示しているときには、再生した前記デジタル信号を前記暗号化手段において暗号化して前記出力手段より出力することを特徴とするデジタル信号出力装置。

#### 【請求項2】

デジタル信号を受信して記録媒体に記録し、記録した前記デジタル信号を再生してデジタルインタフェースより出力するデジタル信号出力方法において、

前記デジタル信号には、前記デジタル信号のコピー制限を示すコピー制御情報と、コピー可信号保護情報とが付随しており、

前記コピー制御情報は、コピー可の状態と、1回コピー可の状態と、コピー禁止の状態のいずれかを示す情報であり、

前記コピー可信号保護情報は、前記デジタルインタフェースより出力する前記デジタル信号がコピー可であり、かつ暗号化による保護が必要であるかどうかを示す情報であり、

前記デジタル信号を受信し、

前記コピー制御情報がコピー可、または、1回コピー可であることを示しているときに前記デジタル信号を前記記録媒体に記録し、記録した前記デジタル信号のコピー制限を示す記録媒体コピー情報を前記記録媒体に記録し、記録した前記デジタル信号を再生し、

再生した前記デジタル信号を前記デジタルインタフェースより出力する際には、

前記コピー制御情報がコピー可で、前記記録媒体コピー情報がコピー可であることを示し、かつ前記コピー可信号保護情報が保護不要であることを示しているときには、再生した前記デジタル信号を暗号化を行わないで前記デジタルインタフェースより出力し、前記コピー制御情報が1回コピー可であることを示しているとき、または、前記記録媒体コピー情報がコピー不可であることを示しているとき、または、前記コピー可信号保護情報が保護要であることを示しているときには、再生した前記デジタル信号を暗号化して前記デジタルインタフェースより出力することを特徴とするデジタル信号出力方法。